



別記第1号の2様式

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	
(1) 介護保険制度	
(2) 障害者総合支援制度及びその他制度	
(3) 医療との連携とリハビリテーション	
5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間	
(1) 介護におけるコミュニケーション	
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	
6 老化の理解 6時間	
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	
(2) 高齢者と健康	
7 認知症の理解 6時間	
(1) 認知症を取り巻く状況	
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	
(4) 家族への支援	

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間
(1) 同左	3
(2) 同左	3
(3) 同左	3
5 介護におけるコミュニケーション技術	6時間
(1) 同左	3
(2) 同左	3
6 老化の理解	6時間
(1) 同左	3
(2) 同左	3
7 認知症の理解	6時間
(1) 同左	2
(2) 同左	1
(3) 同左	1
(4) 同左	2

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	
(1) 通信講習及び講義	
(2) 通信講習	
(3) 通信講習及び講義、リハビリテーションの器具を用いてトレーニングの実際を体験する。	
5 介護におけるコミュニケーション技術	
(1) 通信講習及び講義、トレーニングワークに基づきコミュニケーションを体験する。	
(2) 通信講習及び講義、記録について考えをまとめて、気づきを共有する。	
6 老化の理解	
(1) 通信講習及び講義、老化に伴うところとからだの変化と日常についてロールプレイを通じて、気づきを共有する。	
(2) 通信講習及び講義	
7 認知症の理解	
(1) 通信講習	
(2) 通信講習	
(3) 講義、認知症に伴うところとからだの変化と日常生活についてロールプレイを通じて、気づきを共有する。	
(4) 講義、家族への支援についてロールプレイを通じて、気づきを共有する。	

別記第1号の2様式

8 障害の理解	3時間
(1) 障害の基礎的理解	
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	
9 ころとからだのしくみと生活支援技術	75時間
ア 基本知識の学習	10~13時間
(1) 介護の基本的な考え方	
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
イ 生活支援技術の講義・演習	50~55時間
(4) 生活と家事	
(5) 快適な居住環境整備と介護	
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(9) 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	

8 障害の理解	3時間
(1) 同左	1
(2) 同左	1
(3) 同左	1
9 ころとからだのしくみと生活支援技術	75時間
ア 基本知識の学習	10時間
(1) 同左	4
(2) 同左	3
(3) 同左	3
イ 生活支援技術の講義・演習	53時間
(4) 同左	3
(5) 同左	4
(6) 同左	6.5
(7) 同左	7
(8) 同左	6.5
(9) 同左	6.5

8 障害の理解	
(1) 通信講習及び講義、障害の基礎的理解について考えをまとめて、気づきを共有する。	
(2) 通信講習及び講義、障害の基礎的知識について考え方をまとめて、気づきを共有する。	
(3) 通信講習及び講義	
9 ころとからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習	
(1) 通信講習及び講義、介護の基本的な考え方について、考えをまとめて、気づきを共有する。	
(2) 通信講習	
(3) 通信講習	
イ 生活支援技術の講義・演習	
(4) 通信講習及び講義、生活と家事について、考えをまとめて、気づきを共有する。	
(5) 通信講習及び講義、居住環境について考えをまとめて、気づきを共有する。	
(6) 講義、着衣着脱に関する実技演習を行う。	
(7) 講義、移動・移乗に関する実技演習を行う。	
(8) 講義、食事介助に関する実技演習を行う。	
(9) 講義、入浴・清潔保持に関する実技演習を行う。	

別記第1号の2様式

(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(10) 同左	6.5	(10) 講義、排泄介助に関する実技演習を行う。
(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(11) 同左	6.5	(11) 講義、睡眠に関する実技演習を行う。
(12) 死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護	(12) 同左	6.5	(12) 講義及び終末期介護について考えをまとめて、気づきを共有する。
(実習) <sup>*</sup> (50～55時間中12時間以内)	(実習) <sup>*</sup> 時間		(実習) <sup>*</sup>
介護実習 ○時間			
ホームヘルプサービス同行訪問 ○時間			
在宅サービス提供現場見学 ○時間			
ウ 生活支援技術演習 10～12時間	ウ 生活支援技術演習 12時間		ウ 生活支援技術演習
(13) 介護過程の基礎的理解	(13) 同左	5	(13) 講義、介護過程の基本的な視点、姿勢について考えをまとめ、気づきを共有する。
(14) 総合生活支援技術演習	(14) 同左	7	(14) 講義、事例に基づき介護のポイントを考えながら、支援技術を演習する。
10 振り返り 4時間	10 振り返り 4時間		10 振り返り
(1) 振り返り	(1) 同左	2	(1) 講義、研修を通じた学びを再確認しながら、気づきを共有する。
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	(2) 同左	2	(2) 講義
追加カリキュラム			
計 (130時間)	計 130時間 )		

※「9ところとからだのしくみと生活支援技術」内で実習を行う場合、12時間以内とする。